[1] 2

ı

rearrangeは「再配置する」という意味で、「捨てる」などの意味はない。また、文章中で語られている"KonMari Method"は「ときめかないものは捨てる」というもので、この観点からもguide them to make decisions about「持ち物についての判断を促す」が適切。

[2] 4

[2]を含む文の直後には、居住地や通勤の 方法などのライフスタイルを見直した例 が挙げられている。そのような文につな がるのは、take stock of their most important consumption choices「彼らに とってもっとも大切な要素がなんである かをを吟味する」が適切。

[3] 2

[3]を含む文の直後には、「代わりに市街地の小さな賃貸部屋に住むことにした」という例が挙げられている。それにつながりうるのは、give up their giant homes in the suburbs「郊外の大きい家に暮らすのをやめる」が適切。

[4] 1

[4]を含む文の直前には、「家族が2台目の車を手放すことができた」という意味の文がある。そのあとにevenでつなげられていることから、カッコを含む文章は「1台もいらなくなった」という意味の文章であると推測できる。そのような意味にするためには、eliminate the need for one at allが適切。

[5] 4

[5]を含む文と、その次の文は、「ほとんどの人にとって、1食のメニューの選択などというのは[5]である。しかし、長期的に見れば大きな利益がある」というようにつながっている。したがって、[5]には「重要でない」というような意味の単語が入ると推測できるので、seemabsolutely insignificantが適切。

[6] 1

第4段落では、ミニマリズムが経済的に もいい効果をもたらすということが主張 されている。1が適切。

[7] 3

この文の直前では、ミニマリズムが経済格差解消の一助になるということが主張されている。[7]を含む文は全体として「富裕層から貧困層へ富が移動する」ということを主張している。よって、Were the rich to go without a certain portion of their consumption「富裕層が消費を抑えれば」がその直後のmore resources might be freedともつながり、適切。

[8] 4

[8]の直後の文では、By consuming conscientiously「よく考えてものを買う」ことで、大量生産品ではなくより良い製品をつくる地元の生産者を支援することができると述べられている。さらにその次の文では、そのような一人ひとりの選択が積み重なることで、国内経済に良い影響をもたらすと述べられている。したがって、[8]はthey want to focus on what impacts our money might have「お金の使い方がどのような影響をもたらすかをよく考える」が、直後のBy consuming conscientiouslyと、その文の趣旨とも合致しており、適切。

直後の文で提案されているのは、あくまで地元の生産者からものを買うことであって、品質については一切言及がない。また、常識的にも、buy only high quality products「良い品のみを買う」ことを主張するというのは過剰であると考えられる。

[9] 2

[9]はその後のwould beの主語であるので、名詞句を作りうるwhateverが適切。



Ш

[10] 4

constituteとstressは他動詞。intent toのあ とには動詞の原形が来る。4が適切。

[11] 2

might well have to destroy「破壊しなければならないだろう」が入る。

[12] 2

[12]の直前では、big really can be beautiful の具体例として、大規模生産のほうが効率的に生産できるということが述べられている。[12]の直後では、各国はそれぞれの状況に合った生産方法を取るべきである、と述べられている。したがって、大規模生産の例に並列する形で、「長距離輸送のほうが環境に優しいこともある」という意味の2が適切。

3は、nations should be adopting harmonized policies「国家間で調整された政策を採用しているべきである」という意味で、不適切。

参考:When governments or organizations harmonize laws, systems, or regulations, they agree in a friendly way to make them the same or similar. (Collins English Dictionaryより)

[13] 1

明らかに述べられていない1が不適切。

[14] 3

rid A of B「AからBを取り除く」を用いた、rid their lives of "things"「彼らの生活から『モノ』をなくす」が適切。

[15] 3

この文では、化粧品メーカーが「ミニマリスト・ファンデーション」を売ることで[15]をした、と述べられている。make a killing「大儲けする」が適切。

[16]2

[16]の直前で、minimalism is in fact a previlege「ミニマリズムに従って生きること自体が特権的である」と述べられている。その内容に沿うlimited only to the wealthy in the developed conutries「先進国の富裕層に限定された」が適切。

[17] 3

一般に、否定を表す語は機能語よりも強く発音される。

[18] 1

Iの文章では、第4段落の最後に「政府はミニマリズムを推進するべきである」と明確に述べられている。Ⅱの文章では、第4段落の冒頭で反対のことが明確に述べられている。

[19] 4

Iの文章では、第5段落の冒頭で「富裕層が消費を減らすことで、その分が貧困層に回る」ということが述べられており、合致しない。Ⅱの文章では、第2段落において消費の削減は発展途上国に対して悪影響を及ぼす、とされており、合致しない。

[20] 3

I、Ⅱの文章ともに第3段落の冒頭で述べられている。

[21] 2

deplorableのみ第2音節にアクセント。他 は第1音節にアクセント。

[22] 1

deliver, deliveryはともに第2音節にアクセントがある。



Ш

[23] 2

[23]の直後では、服の生産が10年で倍に なったと述べられているので、The growth in production has been absurdが適 切。

[24] 1

[24]の直後では、服の消費量は伸び続ける だろうと述べられている。Nor the pace set to dropが適切。

[25] 3

[25]の直後では、服の消費量が伸び続ければ、その廃棄量も当然増えるだろうと述べられている。What follows is not hard to guessが適切。

[26] 2

2015年の服の廃棄量は世界で9200万トン、アメリカで900万トンであったと述べられている。10%が適切。

[27] 2

[27]の直前では、「かかるコストが廃棄に ともなうもののみだったとしても、それ はすでに十分大きい」と仮定法で述べら れている。しかし、実際はそうではな く、[27]の直後にあるように、服飾産業は 環境にも悪影響を及ぼしているのであ る。

よって、But it is not.が適切。

[28] 3

[28]の文は、複雑なサプライチェーンや廃棄物、大規模な牧畜などによって、大量の二酸化炭素が排出されているという意味の文であると考えられる。make for a heavy carbon footprint「大量の二酸化炭素排出の原因となる」が適切。

[29] 1

「技術だけで」の意味になると推測される。aloneが適切。

[30] 4

ファストファッションへの課税が
politically awkward「政治的にうまくいかない」ことの例が挙げられている。
rejected「却下された」が適切。abolish
「廃止する」は、そもそも現状そのような法律がないので、不適切。

[31] 2

下線部は、「安易に〇〇であると言われる」という意味。下線部をいったん取り除いた文章を考えると、(略) Africa, where people are in need of them.となる。[31]の後では、アフリカに送られる服が適切なものでなかったり、そのような支援によって国内の繊維産業の発達が阻害されているという問題点が指摘されているより、この下線部を加えることで、文には「一般にはアフリカの人は服を必要には「一般にはアフリカの人は服を必要としていると安易に言われがちだが、実際はもっと複雑な事情があり、単に服を送ればいいというものではない」という言外の意味が加わる。2が適切。

[32] 4

the key numberが変わらない限り、服飾 企業はリサイクルを推進しないだろう、 と述べられている。よって、the key numberとは、繊維をリサイクルするコストが、原料から作るよりも10%高いというこの割合であると考えられる。4が適切。

[33] 2

第8段落の最後の文で、筆者は「これらの問題に対処するためには、各個人の消費意識の改革だけでなく、システムの改革も必要」と述べているので、×。

[34] 2

第5段落の冒頭で、「課税や規制によって市場を制御するのは難しい」と述べられているので、×。

[35] 1

第3段落で自然由来の繊維、第4段落で 合成繊維がそれぞれ環境に与える悪影響 について述べられているので、○。



IV

R1: I don't mean to nitpick, but I think what you said to Mrs Tanaka the other day was a bit offensive.

D1: We need to put it straightforward, or parents don't realize the seriousness of the matter.

R2: I do understand the seriousness, but I think putting all the blame on the parents is going too far.

D2: Generally speaking, it's careless of parents to let their children bring such a thing to school and play with it.

٧

選択:A

Minimalist life has become a huge trend worldwide, emphasizing its benefits on both the environment and individual lives. However, I believe that we should not encourage it on a national level. First of all, promoting minimalist lifestyle could unfairly impact the life of the socially vulnerable. Some claim that minimalism can revive the economy by conscientiously spending money, as Claire Yermesse does in her article (2020, paragraph 6). However, many workers in developing countries rely their lives on mass-producing multinational companies. Reducing the consumption cuts the companies' profit, causing the workers to lose their jobs.

Moreover, governments should not intervene in one's lifestyle, including the choice of purchase. Certainly, some studies indicate that having less leads to satisfaction in life, but making purchases is a personal choice. Some people derive happiness from buying or collecting things, and any form of happiness should be allowed.

Lastly, minimalists' lifestyle is becoming commercialized, as points out Winnie D. Morstuf in his article (2021, paragraph 7).

Some people just show off how trendy their lives are, ignoring the true purpose of minimalism. Thus promoting minimalism does not necessarily lead to the reduction of consumption.

It is true that the Japanese government should take measures to reduce the waste and alleviate the environmental impact of mass production, but they should not achieve this through restriction on consumption. Instead, they can focus on education in order to enhance people's awareness on how their choice affects the environment and the society.

